

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612

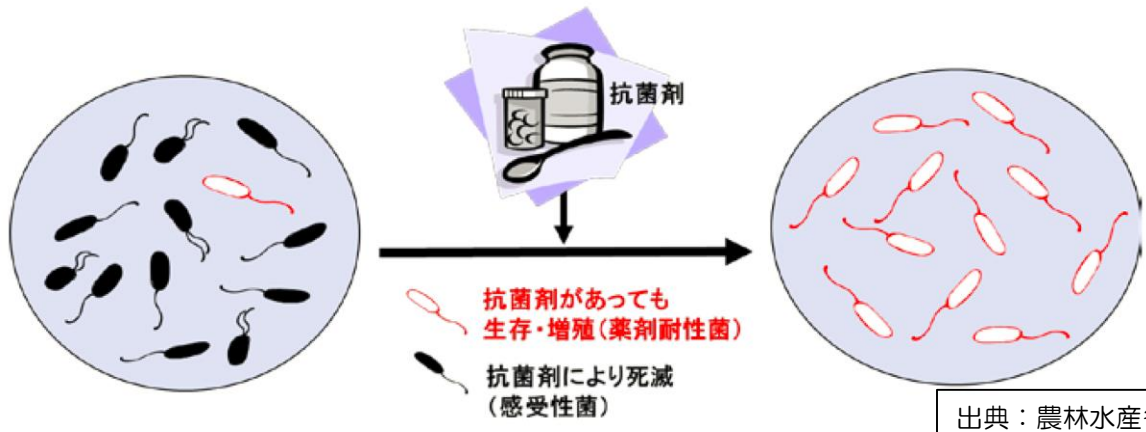


## 動物用医薬品の適切な使用に御協力ください！！

★薬剤耐性とは、抗菌性物質に対する、細菌の抵抗性のことです。

耐性を持った細菌に対して抗菌性物質を使用すると、狙い通りに細菌を死滅できず、**薬剤耐性菌が生存し**、増えてしまいます。

農場内に耐性菌が増えると効果的な抗菌薬の種類が少なくなるため、家畜の**治療が困難となります**。



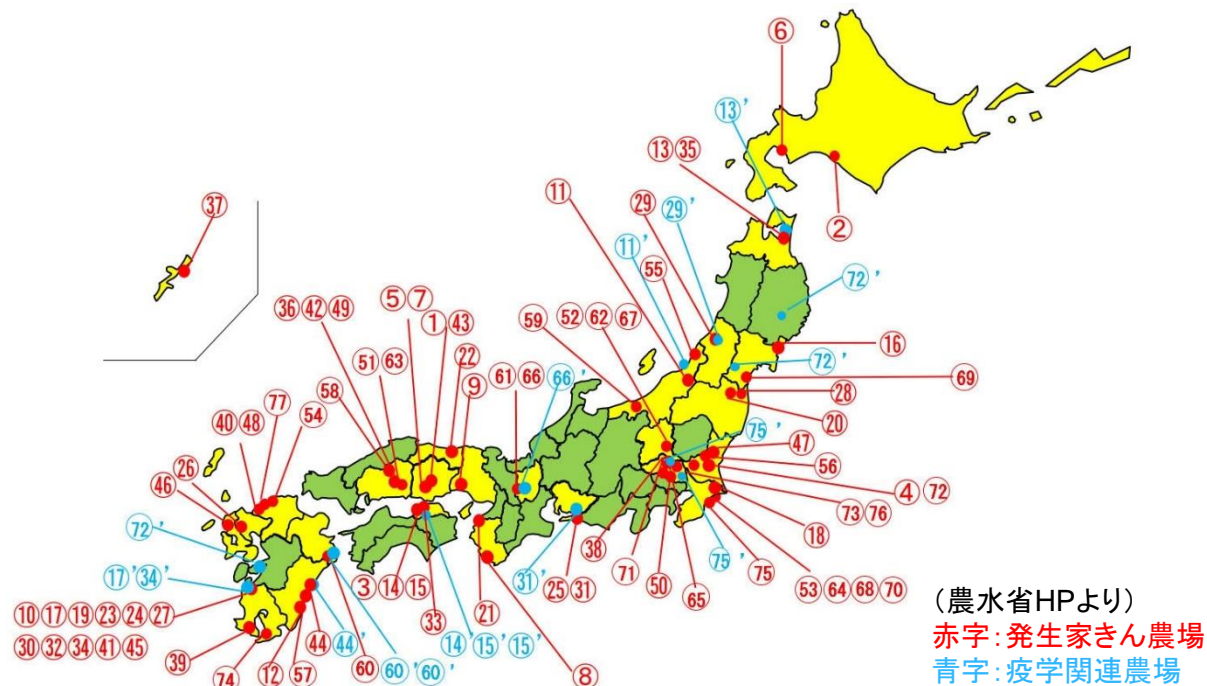
- 元々、薬剤耐性を持たない細菌でも、他の細菌から耐性遺伝子を受け継いだり、遺伝子の突然変異により、耐性獲得する場合があります。
- 同じ種類の抗菌薬の反復投与や長期投与又は低用量もしくは短期間で**不適切な使用**により、細菌が**耐性を持つ**こととなります。
- 薬剤耐性菌の存在は、家畜の治療を困難にするだけでなく、畜産物を介して、人の感染症治療を困難にすることが懸念されます。

## 薬剤耐性菌を増やさないために

- ①**ワクチンの積極的な利用**及び**飼養環境の改善**等、感染症の発生予防に重点を置いて抗菌性物質の使用を減らす。
- ②原因菌に対して有効な抗菌性物質の適切な選択。
- ③第二次選択薬の投与は、**第一次選択薬が無効の場合に限定**。
- ④投薬開始後一定期間内に治療効果を確認し、効果が見られない場合は獣医師の判断に基づき製剤の変更。

耐性菌の発生を予防し、今後も抗菌性物質を有効に使っていくために、**獣医師と生産者の協力が必要です**。

# 国内における高病原性鳥インフルエンザ発生が継続中！



○今シーズンは、過去最速の10月28日に国内1例目が確認されて以来、令和5年3月2日時点で25道県77事例発生し、約1502万羽が殺処分対象となっています。  
○引き続き飼養衛生管理を徹底し、本病の侵入防止に努めていただくとともに、飼養している家きん等に異状が確認された場合には速やかに家畜保健衛生所へ連絡いただくよう周知をお願いいたします。

## 近隣諸国における悪性伝染病発生情報

### 近隣諸国における海外悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地(国)	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	韓国	肉用鶏(2件)	令和5年1月11日、2月27日
			うずら	令和5年2月21日
			採卵鶏(2件)	令和5年2月21日、2月23日
			地鶏(2件)	令和5年2月21日、2月23日
		台湾	家きん	令和5年2月
	H5N2	台湾	家きん	令和5年2月
アフリカ豚熱		ロシア	野生いのしし	令和5年1月2日
			豚	令和5年2月11日
		韓国	野生いのしし(68件)	令和5年1月~2月

令和5年(2023年)3月1日現在

## 毎月20日はくまもと家畜防疫の日

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。  
下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！  
<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/4/56061.html>

